

院内消毒における現場の課題

- 少人数で運営しているため、余計な労力をかけられない
- 他に優先しなければならない仕事がある
- 消毒作業の複雑化
(抗菌スペクトル用途に合わせた消毒剤の使い分け)

消毒作業の複雑化

- 診察台・犬舎・床面・機器類など、用途に合わせて使い分けている
- 使用するたびに希釈が必要で手間がかかる(手袋やマスクの着用も)
- 希釈する際に原液に触れてしまうと、手荒れなどの心配がある
- 希釈したものは長期保存ができないため、毎回準備しなければならない

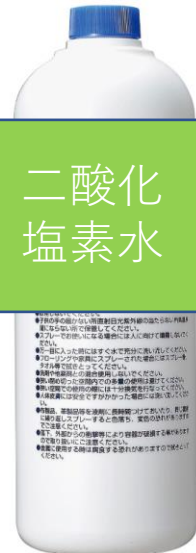
消毒用
エタノール



次亜塩素酸
ナトリウム



二酸化
塩素水





マイクロシンクリーナーをおすすめする理由

- 幅広い抗菌スペクトル
- 希釈の必要なし
- 成分の安定性が高く、最長3年間の使用期限
- 漂白や金属腐食の心配なし
- 人体や環境への影響がない
- 術野の消毒にも使用可能
- 脳外科の手術中消毒にも使用可能

**オーストラリアでは、新型コロナウイルス(COVID-19)
対策製品として薬事認可されています！**



よく使われている環境用消毒剤との比較

製品名	マイクロシンAH クリーナー 	ビルコン 	消毒用アルコール
主成分	水、次亜塩素酸	次亜塩素酸ナトリウム	エタノール
有効性	細菌、真菌、ウイルスを秒単位で死滅 芽胞菌◎	細菌、ウイルス、真菌を死滅（濃度による） 芽胞菌△	細菌、真菌、ウイルスを死滅 芽胞菌×
安全性	皮膚、粘膜、呼吸器への刺激なし	皮膚、粘膜、呼吸器への刺激あり	皮膚、呼吸器、粘膜への刺激あり
使い方	希釈の必要なし 対象物にスプレー ディフューザーで空間噴霧	希釈必要 (マスクや手袋を装着)	対象物にスプレー
利便性	金属腐食や変色の心配なし 空間噴霧が可能	金属腐食、変色する場合あり	引火性あり

使用可能な場所と物

漂白や金属腐食
の心配なし

- 待合室
- 診察室
- 手術室
- ICU
- トリミングルーム
- 犬舎(ホテルスペース)



- 診察台
- パソコンのモニター
- マウス
- キーボード
- スマートフォン・携帯電話・PHS
- 照明スイッチ
- ドアノブ
- イス
- カウンター
- 壁
- CT
- MRI
- 輸血ポンプ
など

動物病院での消毒実験結果

施設名	場所	使用製品	使用前	使用后
W動物病院	診察室	エアディフューザー	1.8×10^5 個	70個
	入院犬舎	マイクロシンクリーナー	1.2×10^2 個	40個
	診察台	マイクロシンクリーナー	1.1×10^7 個	<10
R動物病院	診察台	マイクロシンクリーナー	2.0×10^2 個	<10
	術野	マイクロシンクリーナー	80個	<10
K動物病院	診察台	マイクロシンクリーナー	50個	20個
	入院犬舎	マイクロシンクリーナー	10個	20
	術野	マイクロシンクリーナー	70個	<10

ディフューザーは3h使用

術野(前)は、イソジン+70% イソプロピルアルコールを使い1時間後に採取
100個以下は、衛生上問題なしと評価(厨房の衛生管理の場合)

エアディフューザーによる空間除菌の実験結果

場所	設備	使用時間	使用前	1時間後	2時間後	6時間後	18時間後
診察室1	壁	1時間	0	0		0	
	ドアノブ		0	0		0	
	診察台		0	0		0	
診察室2	壁	2時間	0		0		2.0×10
	ドアノブ		0		0		0
	診察台		0		0		2.0×10
待合室	カウンター	1時間	0	1.0×10 個		0	
	ドアノブ		0	1.0×10 個		0	
	イス		0	1.0×10 個		0	

場所	設備	使用時間	使用前	人の出入り直後	人が出てから30分後
待合室	通路	1時間	2.2×10^2	4.8×10^2	2.1×10^2

100個を超えると再洗浄(厨房の衛生管理条件の場合)100個以下は衛生上問題のないレベル

人の出入り直後は増えたが大きく増えなかったことは評価できる

使用前にカビが140個あったが人が出てから30分後には0になっていた



MicrocynAH[®]で実現できること

ANIMAL HEALTH

- 飼い主とペットの不安やストレスを軽減できる
- 治療方法やケアのバリエーションが広がる
- スタッフの方々の健康を守り、負担を軽減できる

